

## 【第1回釜石市中学校部活動地域移行推進協議会】

(1) 趣旨説明…設置要綱の確認

(2) 会長選任

(3) 説明

①部活動の地域移行に至る現在までの国（スポーツ庁及び文化庁）の動向等について

②釜石市中学校部活動の地域移行の推進について（案）

③小中学校児童生徒、保護者アンケート調査結果

④スポーツ・文化団体等のアンケート調査結果

⑤今後の流れ

(4) 協議（主な意見を整理したもの）

- ・児童生徒数を考えると、現状の部活動では厳しくなっている。休日をどうするかだけでなく、平日をどうするのも併せて考えていかなければならない。勝利至上主義に陥らないように、子供たちがスポーツ・文化に親しむ受け皿が必要。
- ・大会参加前提ではなく、学校の部活動の意義自体を見直さなければならない。
- ・受益者負担となると、経済的に苦しい家庭は、参加が厳しくなる。しかし、地域の指導者にボランティアでやってもらうわけにもいかない。保護者の負担は必要だが、公的な支援も必要ではないか。
- ・問題が山積している。釜石市の現状と課題を洗い出していく必要がある。
- ・今までは、先生方が全部やってきた。しかし、先生の負担が大きく、先生頼みでは成り立たなくなっているのが現状。地域も保護者も学校も覚悟は必要ではないか。市P連も一緒に考えていかなければならない。
- ・地域の指導者の中には、報酬が発生すると、かえってやらないという人もいる。団体への補助も含め、報酬について考えていかなければならない。
- ・地域移行にしたことによるトラブルも考えられる。地域移行が広まっていくまでに、学校と地域の指導者とのすり合わせが必要になってくる。連携をしっかりと行っていかなければならない。
- ・言葉の整理をしていかないと、混乱が生じる。
- ・生徒数の減少に対し、部活動の数が多すぎるのも問題なのではないか。精選していく必要がある。アンケート結果を見ると、子供たちや保護者のニーズは様々。合同がいいという人も、合同ならやりたくないという人もいる。何にあわせていけばいいのか。
- ・ブラスバンドの場合、楽器のことや保管場所等の課題もたくさんある。
- ・課題がたくさんあるし、それぞれイメージが違うので、すり合わせを行っていく必要がある。今後、ワーキンググループ等、さまざまな意見を出し合っていかなければならない。